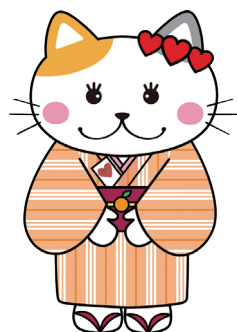


議会だより



いきいきサロン松美会 (大井)



市議会HP

12月定例会トピックスはこちら

12月補正予算（第6号）（第7号）（第8号）は、合計で歳入歳出それぞれ5億6,786万3千円を追加し、予算総額を320億7,832万7千円とするものです。主なものは、財政調整基金管理事業2億5,796万5千円、農業施設災害復旧事業4,985万9千円、職員の配置換え及び人事院勧告に準拠した給与改定等による人件費の調整、物価高騰対策として国による物価高対応子育て応援手当を支給するものなどです。

ごみ袋の無償配布を廃止し単価を下げる

ごみの減量化を図るため、令和8年度から指定ごみ袋の無料配布を廃止することに伴い、販売価格を下げるとともに、新たなサイズの燃やせるごみ袋を作成します。

問 無料配布が無くなれば、直接買わなくてはなりませんが、買い物に不自由な人や地域での対応はどうなりますか。

答 現在、市内では約100ヶ所で販売されていますが、今後は移動販売車や介護事業所、郵便局等にもしっかり声掛けをしていきたいと考えています。

問 ごみの減量推進事業という事業名ですが、ごみ袋の値段と特小をつくるだけでは減量

化に効果を発揮しないと思いますが、他の減量策はどうなっていますか。

答 ごみ袋の無料配布による減量化が頭打ちの状況であり、他の事業での対策として、生ごみ処理機の補助制度や、町内会・子ども会等での新聞・段ボール・古紙の回収への助成金の交付などにも取り組んでいます。

【減量推進事業 2,235万8千円】

中核病院 特別委員会

進捗の兆しが見えない 中核病院形成 ～状況が分からないまま時間だけが経過～

10月9日、第21回目となる委員会を開催しましたが、市長が入院中で欠席したため、事前通告した質問の回答書を読み上げる形で行われました。この答弁に対する再質問について、一部議員が文書で質問を行いました。

また、12月23日には、市長出席のもと第22回委員会を開催し議論を行いました。これまで通りの答弁に終始したことから、現時点でも「なぜ基本合意ができないのか」、「今後の見通しはどうなっているのか」などの進捗状況等は全くわからない状況で、時間だけが経過しています。主な質疑は次の通りです。

問 市長が「年内、遅くとも年度内に結論を出す」と明言している中、12月議会では報告がありませんでしたが、3月議会で報告されますか。

答 定例会にこだわらずに、基本合意が整った時には、早急に議会へ報告したいと思えます。

問 萩市医師会の有志から提出された要望書を受け、どのような対応をしましたか。

答 要望書を相手方と共有し、早期に合意ができるよう努力することを確認しました。

問 中核病院形成の最高責任者は誰ですか。

答 誰が最高でということは、お答えしがたいです。

の補正予算案を審査

物価高対策として子育て家庭へ国が支援

長期化する物価高の影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援するとともに、子どもたちの健やかな成長を応援するため、18歳未満の子どもを持つすべての世帯に対し、物価高対応子育て応援手当を支給します。

問 対象児童数は4,400人（見込み）で、ひとりに2万円の支給ですが、世帯数と支給の開始はいつからですか。

答 約2,400世帯で、令和8年2月下旬から

の支給を予定しています。

【＜新規＞物価高対応子育て応援手当支給事業

9,113万7千円】

討 論

ごみ袋の価格引き下げに賛成

市民から十数年来、要望を受けていたごみ袋の価格引き下げを実現する事業があることから賛成します。

宮内 欣二 議員



広 報 委 員 会

「100条調査報告書」に対する討論に反論 『議会だより(77号)』に事実誤認無し

萩市の第3セクターが民間漬物事業を事業承継した背景を調査した100条委員会の調査報告書を、9月定例会で賛成多数で承認しました。その際行われた調査報告書に対する反対討論において、関伸久議員が「6月定例会の議会だより(77号)の内容であります。そこには民間事業者の既存の漬物工場が改正食品衛生法に不適合との記載がありました。実際に不適合だったのでしょうか。事実とは異なるのではないのでしょうか。(中略)そのような文書を議会だよりを使って発信することこそが大きな問題であると思います。断固抗議いたします。」と発言しました。

広報委員会は、この発言について関伸久議員に質問状を提出し抗議の主旨を確認しました。また、保健所に出向き、工場が不適合であることから経過措置期間にあたるというこ

とを確認しました。このことから、『議会だより』には、事実と異なることは記載しておらず、関伸久議員に発言の取り消しを申し入れましたが、拒否されました。当該発言は、公式な発言として会議録に記録され、動画配信サイトでも視聴できます。

議員の発言は、法律や規則の範囲で自由が認められています。しかし、この度の「『議会だより』が事実と異なるのではないか」とする関伸久議員の発言は事実誤認であり、市民の議会に対する信頼を損ねかねないものです。

『議会だより(77号)』の該当部分には、事実と異なる記載はしておらず、承継する工場は改正食品衛生法に不適合だったことを改めてお伝えします。今後の再発防止を全議員に求めるとともに、引き続き市民に信頼される情報発信に努めます。

総務

林野火災の予防を目的に条例を改正

岩手県大船渡市の火災を受けて林野火災の予防を図ることを目的に林野火災注意報・林野火災警報を新設し、警報を発令した際にはたき火などの行為を行ってはいけないことなどを規定しました。

問 違反した場合の対応や罰則規定はどうなりますか。

答 違反行為があった場合には現場で指導します。消防法第44条により30万円以下の罰金等の罰則規定があり、条例改正の内容と合わせてホームページや広報萩などを活用して周知します。

問 警報が発令された場合にはどのように周知しますか。

答 防災メールに加えて防災行政無線や消防車による消防署や消防団での広報などを検討しています。

教育 民生

薬の処方が院外から院内へ切り替えに

須佐診療センターで院内処方を実施するため、薬剤師を配置する予算を計上するものです。

問 薬を他の地域から配達できませんか。

答 人材を確保することを第一優先で考えていますが、平行して配置できなかった場合の対応も検討しています。

問 配達となった場合、郵送料は市が負担できませんか。

答 検討していますが様々な課題があり、今回は難しいと考えています。



須佐診療センター

経済 建設

萩阿武川温泉の利用料金改定へ

萩阿武川温泉の安定的な運営を図ることを目的に、大人550円から700円へ改定されますが、市民は当面の間、従来の金額を維持して差額を市が補助することを検討しています。

問 新しい料金は、どの様に決定されましたか。

答 県内類似施設の中間的な価格帯で設定しています。

問 利用者へのサービスはありますか。

答 従来通り10回分の料金で利用できる12枚綴りの回数券があります。



萩阿武川温泉 ふれあい会館

「ぶり奨学プログラム」と「若者の地元定着促進の取組」を視察

これまで消滅可能性都市脱却に向けた人口減少対策、移住・定住対策を所管事務調査項目とし、今年度はUターンの促進などに取り組む富山県氷見市の「ぶり奨学プログラム」では奨学金返還補助の制度設計の違いや、南砺市の「若者の地元定着促進の取組」では体系的に整理している取組や地域の特性を活かした企業誘致の事例などを視察しました。

- 10月22日 富山県氷見市
「ぶり奨学プログラム」
- 10月22日 富山県南砺市
「若者の地元定着促進の取組」



氷見市



南砺市

「部活動地域移行・展開」と「オーガニック給食」を視察

教育民生委員会では、部活動地域移行をするため、令和3年の地域クラブの組織の立ち上げから現在までの状況について静岡県焼津市を視察しました。また、SDGsの観点から、令和6年4月より、学校給食にオーガニック農産物を使った給食を提供している、大阪府泉佐野市を視察しました。

- 10月29日 静岡県焼津市
「部活動地域移行・展開」
- 10月31日 大阪府泉佐野市
「オーガニック給食導入の取組」



焼津市



泉佐野市

「有機農業・スマート農業」と「AIデマンド交通」を視察

経済建設委員会は、長崎県南島原市が行っている有機農業の生産基盤の強化、人材育成や後継者育成などの現状と課題、農業用ドローンの農薬散布などスマート農業について視察しました。また、福岡県筑紫野市では、公共交通の一部廃止をきっかけに、住民の声に応えるべくAIデマンド交通「筑紫野のるーと」が運行開始となった経緯と現状を視察しました。

- 10月21日 長崎県南島原市
「有機農業・スマート農業推進の取組」
- 10月22日 福岡県筑紫野市
「共創による健康づくり・通学・配送を支える交通体系構築プロジェクト」



AIデマンド交通「筑紫野のるーと」



南島原市

令和7年度議会報告会を開催

～開かれた議会をめざして～

市民の皆様には議会の活動を報告するとともに、市民の皆様からご意見やご要望をお伺いする議会報告会を開催しました。

令和2年度から開催し、各地域での開催や、オンラインと会場のハイブリッド開催など様々取り組んできました。

今回は、これまで訪れたことのない地域として、11月15日(土) 三見、16日(日) 大島、22日(土) 越ヶ浜で行い、3会場の参加者数の合計は110名でした。ご参加いただきありがとうございました。

各地域の生活に密着したご意見やご要望を数多くお聞きすることができました。頂いたご意見・ご要望は、議長から市へ報告するとともに、各議員の活動に反映させていきます。開催方法や日時にも改善の余地はあると考えています。

引き続き、市民のための議会として機能するよう取り組みます。ご意見ご感想もお待ちしています。



各会場でお聞きした意見の主なもの

- ・島から市外へ通院すると、公共交通での移動が大変で困っています。
- ・明神池周辺を全体的に再整備してほしい。
- ・早く中核病院を作してほしい。
- ・人口減少への対策を真剣に考えてほしい。

など



表紙・題字の紹介

表紙の写真は、いきいきサロン松美会（大井）とふくふくサロン（福栄）にお伺いして撮影させていただきました。季節に合わせた行事が行われており、笑顔があふれるひとときを過ごされていました。

横書き題字 最上 榮子さん（大井）

縦書き題字 久光瑠美子さん（福栄）



『議会だより』の制作は、広報委員会に所属する議員自ら責任をもって制作しています。2ページで取り上げた、『議会だより』を事実と異なるとする発言は、市民の信頼を損ねるものです。

引き続き、広報委員会では、事実に基づき公平公正に市民に伝わる『議会だより』の制作に努めます。

委員長 浅井 朗太



水津 和男
(政風会)



北浦3市の一次産業共通課題を合同で取組を

問 漁業、農業、林業は3市共に大きな地場産業です。市独自の取組に加え内容によっては共同で取組をしたり県への合同提案も必要と思われる。推進に当たっては課題が山積しており、テーマごとにプロジェクト化した上での取組が重要と思われる。

答 北浦3市の一次産業には共通課題が多く、連携して国や県へ提言を行うことは大変重要で



あると認識しています。現在は、各市が独自の施策を展開していますが、単独での対応には限界が生じつつあります。直ちに合同での事業化は困難ですが、まずは担当者レベルでの情報共有を密にし、広域連携による解決に向け検討を進めます。

地域の課題問題点の取組改善

問 地域にはそれぞれ課題問題点がある。これを市行政と共通認識しその上で優先順位をつけながら、さらには県に予算確保を要請していくことを強く望む。

答 地域の課題を住民と行政が共有し、協働で解決することは、まちづくりの根幹であると認識しています。優先度の高い案件については、地域協議会等を通じて要望書を提出いただき、予算化に結びついています。離島については、各省庁の補助メニューの検討はもとより、市長会を通じて国への要請を行うなど、財源確保に努めます。

〈その他の質問〉
■萩市ふるさと大使のおもてなし



森田 哲弘
(立志会)



萩保健医療圏の二次救急医療の現状と必要性を問う

問 市民の方から、救急車が到着後なかなか病院に向けて出発しないとの声があります。県議会9月定例会で、執行部答弁があったように、県内8保健医療圏で萩保健医療圏だけが、二次救急医療の対応が遅れていることが原因ではないでしょうか。

二次救急医療は早いほど生存率が上がると共に、後遺障害のリスクが減少します。

なぜ4年間も萩市では二次救急医療の対応の早期実現がされないのか、中核病院形成に進展がないのか尋ねます。

答 現場に到着した救急隊は、傷病者の症状の確認、脈拍等の観察を行い、必要に応じて酸素投与等の処置を実施します。一刻を争う救命活動において

は、これら初動対応が極めて重要です。

萩医療圏の救急搬送については、救急病院による輪番体制の構築と現場のご尽力により、他圏域と比較しても遜色なく迅速に対応しています。これも最前線で命を守る救急病院の先生や、関係者の皆様の多大なるご協力の賜物です。

救急搬送を待つ不安な時間は、非常に長く感じられるものですが、これは適切な処置を行うために必要な「命の時間」です。何卒ご理解をお願い申し上げます。



救急車

〈その他の質問〉
■見島地域の振興について尋ねる
■旧須佐中学校跡地の災害復旧後の整備について尋ねる

学校のプールの使用と活用についての方針は

問 令和6年12月の議会全員協議会で、教育政策課より令和7年度の水泳の授業を実証事業として民間事業者のプールで、水泳指導を委託して実施したいと説明があり、併せて学校のプールの使用は休止とのことでした。

施設の建設年数など、種々の課題を検討して、令和7年度末までに今後のプールの使用について方向性を整理することとしたが、どうなるのでしょうか。猛暑日の続く夏を学校のプールも使えず、川でも泳げず、市民プールもなく、海にも遠い子どもたちはどう過ごせばよいのでしょうか。

答 夏といえば海やプールで遊ぶことが日常でしたが、昨今は地球温暖化の影響により猛暑が

続くようになり、水泳の授業も一定の気温を超えると中止となるなど、学校現場の対応は大きく変化しています。今後の学校プールのあり方については、猛暑による熱中症や火傷のリスク、プール管理に係る教職員の負担、プールの老朽化等を考慮すると、今後地域開放することは難しい状況です。市内各学校では、夏休みに水泳や水遊びなど遊泳する場合、小学校は保護者同伴を義務付けており、子どもだけの遊泳は禁止されています。こうした気候変動による環境の変化を踏まえ、プールの活用について研究していきます。



学校プール

＜その他の質問＞

■鳥獣被害への対策としての職員配置と長期的な視点での対策は



瀧 口 治 昭
(蒼成会)



密集住宅地における火災予防は

問 11月18日、大分市佐賀関^{さかのせき}において、大規模火災が発生しました。

そこで、萩市の漁業集落（密集住宅地）の火災予防について、消火器、火災報知器の設置状況、火災訓練の実施状況をお尋ねします。

答 萩市の密集住宅地域では、過去の大規模火災を受け火災防ぎょ計画を策定し、消火器設置促進や高齢者世帯への住宅用火災警報器の設置を推進しています。

地域住民による「自助・共助」の活動が重要であることから、消防本部、消防団及び市民が一体となり、初期消火訓練等の実施を強化していきます。



森 田 宗 和
(政風会)



主要地方道萩三隅線（県道）の椿町から入る雑式町線の道路拡幅を

問 県道を橋本橋方面から、ダイレックス手前、雑式町線に入るとき視野が狭く、また、車道も4mで、車が離合できない状態です。県道の交通にも支障が出ております。拡幅できないかお尋ねします。

答 県道萩三隅線と市道雑式町金谷線の交差点は見通しが悪く、離合が困難な状況です。歩道を撤去・縮小を伴う車道の拡幅は、電柱の移設や歩行者の安全確保が必要で、地域住民の理解と合意形成が不可欠です。まずは、カーブミラー設置で安全性を高め、その後、地域の意見を踏まえ拡幅を検討していきます。



ダイレックス手前からの写真

＜その他の質問＞

■クラフトパーク（陶芸の村公園）の活用



宮内 欣二
(日本共産党)



中核病院基本合意 年内にするのか

問 市長は中核病院にむけて基本合意を「年内遅くとも年度内」に結論を出すと言っていました。年内にできますか。

最終段階と言われ、あとは市長の決断だと事務方が述べています。

市長は決断するのですか。

医師会の有志の方々が出された要望にどう応えますか。

答 なるべく早く結論を出せるよう、相手方と努めております。基本合意は2者で行うものであり、最終的にはトップ同士の合意となります。医師会の有志の方々からの要望については、2病院統合による中核病院の早期実現であり、早期合意に向け努力してまいります。

コメの増産に支援を

問 水路の復旧、水田の復旧、指導者の確保等に支援する考えはありますか。米価が高いときだからきめ細かく支援して、コメの増産と担い手を増やして、農村地域の活力を取り戻すことに力を入れませんか。

答 萩市の農業において、水田農業は景観保全や国土保全も含めた多面的な機能を担う重要な基盤となるものです。このため、水田や水路等の基盤整備や新規就農者等の担い手の確保など「将来への投資」を支援するところ。が、萩市の果たす役割であると考えています。



コメの収穫

〈その他の質問〉

- 高齢難聴の人への補聴器購入助成制度
- 2つの貧困に対する萩市の取組みは



松浦 誠
(公明党)



狭あい道路の解消を

問 狭あい道路とは、法律上の明確な定義はなく、建築基準法では幅員4m以下の道路を指します。

緊急車両等が入れない場合、日常生活や災害時において様々な問題が発生する事から、この道路を解消していく為の整備計画をお聞きます。

答 萩市の市道は総延長約1000kmのうち約6割が狭あい道路で、新築時には法に基づく指導を実施しています。既存建物がある箇所では拡幅が困難なため、地域の要望を踏まえ優先順位をつけて整備を進めています。今後は国の交付金制度の活用も検討します。

ネットによるいじめの対策を

問 パソコンやスマホを通したネットいじめは、年々増加傾向にあります。その手法についても巧妙化しており、被害を受けた子ども達は、周りの人を疑うなど、様々な精神的症状を発症する場合がある事から、その対策についてお聞きます。

答 ネットによる誹謗中傷やいじめは、深刻な問題です。「生活アンケート」を通じた早期発見・早期解決と「いじめ対策委員会」及び「いじめ問題対策委員会」の設置による、組織的な対応に努めています。未然防止のための情報モラル教育の充実を進めるとともに、学校・家庭・地域、関係機関が一体となり、いじめの未然防止と早期解決に取り組めます。



市民に寄り添った終活支援を

問 身寄りのない独居高齢者世帯が増加しています。横須賀市では、市の職員が葬儀や納骨の意向、延命治療の意思など、本人と一緒に終活支援プランを立てるという終活支援事業を行っています。

本市も希望される方や支援が必要な方と共に考えながら「きずなノート」を記入するなど、寄り添った支援が必要と考えますが見解をお聞きます。

答 萩市では、高齢者が安心して暮らせるよう、権利擁護の推進を図っています。その一環として、きずなノートの配布や終活に関する出前講座を実施しています。終活支援事業については、他市の取組状況、利用実績、課題への対応等に注視しながら、

導入の必要性や実現可能性について研究してまいります。



産後ケアの更なる充実を

問 産後ケアの対象者が拡大され、希望する全ての妊産婦となりました。本市の産後ケア事業での産後うつ対策や相談体制など具体的な取組と課題について伺います。

答 萩市では、安心して子どもを産み、育てられるまちづくりを推進し、産後ケア事業の利用しやすい環境を整えるため、令和7年度から利用料を無償化しました。事業の実施については、委託先の確保が課題となりますが、県と連携した受入体制の確保と併せ、利用者ニーズの把握により事業の充実に努めます。

〈その他の質問〉
クマ対策について

狹隘道路地域の救急搬送対策は小型救急車と道路改良で

問 中山間地域、市街地、漁村集落地域などには、狹隘な道路が多くあり、緊急車両の通行が困難な箇所があります。

対策方法として、軽自動車ベースの小型救急搬送車を導入しませんか。

また、狹隘な道路そのものの拡幅などの改良も必要ですがどう対応しますか。

答 高度な処置を行うには高規格救急車が必要です。このため、マンパワーでカバーする体制を構築しており、小型車の導入は考えていません。日常的に地理水利調査を行い、車両の通行が困難な場所を把握するとともに、現場で把握した道路の支障箇所については担当課に報告するなど、情報共有を行っています。

萩市からの令和8年度山口県予算要望内容は

問 重点項目のうち「中核病院形成」「小郡萩道路の別線バイパス」に、賛同を得るため市長はどのように取り組みますか。

「部活動地域移行」に関連して、タータントラック・人工芝グラウンドの整備要望はしましたが、

答 萩市は、令和8年度県予算等に対して47項目を要望し、そのうち3つの重点要望項目を説明しました。中核病院形成に係る国との調整や技術・財政支援、主要幹線道路の早期全線整備及び小郡萩道路の現道活用区間の別線バイパスによる整備、部活動の地域移行への継続的な財政支援について要望しました。



佐々木 公 恵
(公明党)



浅井 朗 太
(立志会)



人工芝グラウンド



富 小 林
(蒼成会)



県立高校再編が与える 萩市への影響と見解は

問 萩高等学校および萩商工高等学校の再編説明会等では、両校が持つ歴史や伝統、特色を活かす魅力的な教育環境のため様々な意見が出ました。両校とも周辺地域も含めて人材育成を担っており比較的新しい校舎もあることから複数キャンパス制の検討や各校関係者への丁寧な協議など取り組むべきではありませんか。

答 県に対し、「職業学科の確実な継承と産業人材の育成」、「複数キャンパス制による教育環境の最大限の活用」、そして「地元への十分な説明と意見聴取」の3点を要望しています。市としては、通学支援や寮の運営など、高校の魅力化を引き続き支援していきます。



萩高等学校



萩商工高等学校

観光施策の方向性は

問 中長期計画の策定や必要な組織体制整備、各事業の検証や見直しが必要ではありませんか。また、戦略的ターゲットも視野に入れてソフトコンテンツの展開をしませんか。

答 国の方針により「観光地経営戦略」の策定が求められており、萩市観光協会と協働しDMO戦略の再構築や体制強化を進めます。また、これまでの成果を活かし、萩ならではの若年層向けの漫画やアニメといったソフトコンテンツを活用した施策も展開します。

＜その他の質問＞
・市内就職につながる地元企業の周知など支援を



大 喜 原 美
(政風会)



クマへの対応は

問 全国的（東北が主流）にクマ騒動がニュースとなっていています。山口県及び萩市の対応方針と実態を聞きます。クマの目撃件数（地域性）、人的被害件数、農産物等への被害状況等、特に人への危害防止については、どう対応していますか。

クマよけスプレーやクマ鈴は効果がありますか。

答 市内の目撃情報は44件（11月末現在）と昨年より減少していますが、市内全域の山間部を中心に目撃されており、引き続き警戒が必要です。幸い、現時点で人身・農作物被害は発生していません。山口県において、現在、クマの狩猟や捕獲は禁止されていますが、人身被害防止のため、国が創設した「緊急銃

猟制度」を使うことで、人の生活圏に侵入し危険が切迫した場合に、市の判断で銃器による駆除が可能となります。ただし、この実施には猟友会の協力と安全確保が絶対条件となるため、現在、運用体制の構築に向けた調整を慎重に進めています。

また、個人でできる対応策として、近距離でのクマよけスプレーや存在を知らせる鈴は有効と考えます。市では、防災メーリングや防災無線等で迅速な情報提供に努めるなど、市民の皆様の安全を守るため、関係機関と一丸となって取り組みます。



＜その他の質問＞
・地元要望に対する市の方針を聞く
・訴訟行為委任事業についての状況を聞く

海中転落時に対処するための救命用器具等の設置を

問 近年、漁業後継者不足、また人出不足、温暖化の要因もあり時化も多く生産性向上の気運も停滞の今日この頃です。

整備された漁港内では、海中転落時において、救助面において大変困難を生じていると仄聞しており救助に時間を要することがあると聞いております。救助に必要な器具等が必要です。ハシゴ、救助用浮輪等の配置が考えられます。管内においては、漁港、商港があります。人がいる限り事故は起こります。港の安全対策と救助対策についてお尋ねします。

答 萩市内の海岸には、港湾施設や漁港施設などがあり、県と萩市で施設の管理を行っています。港の物揚げ場や岸壁といっ

た係留施設は、船舶が接岸し、漁獲物や重い資材を効率的に積み下ろすために設計・建設がさ

れており、転落防止柵などの安全施設が設置されていないのが通常です。一方、近年では港周辺の環境も整備されており、「漁業者の働く場」であると同時に、地域住民の「生活の場」や「憩いの場」であることを踏まえると、従来の作業効率優先の考え方を超えた、一般市民の生命を守るための安全対策が必要と考えます。今後は、港を管理する県と萩市で情報を共有し、実際に施設を利用される漁業関係者等との協議の場を持ち、漁業活動などに支障をきたさない範囲で、どのような対応が良いか検討します。



長 岡 肇太郎
(政風会)



中核病院の形成はなぜ進まないのか

問 発生した問題の原因を正しく理解しなければ、解決策はわからないと私は考えますが、市長は、中核病院形成が進まなくなった原因をどう分析していますか。また、これまでの答弁で「ゼロベース検討が影響したとは全く思っていない」と明言していますが、この発言の根拠をお示しく下さい。あわせて、議会報告会大島会場で島民からあった「市外医療機関へ紹介された場合、公共交通を利用した通院で大変な目にあっている」や「市民のために1日も早くいい方向へ」という悲痛な訴えにどう対応しますか。

答 中核病院の形成が進まない原因は、これまでも市議会ですべて併しているとおおり、病院統合に

関する基本合意が整わないためです。具体的な原因等については、協議内容に関わることであります。差し控えさせていただいています。中核病院形成は、基本合意が整わないため止まっているものであり、ゼロベース検討を行ったことで止まっている訳ではありません。中核病院ができれば市内で全ての医療が完結すると誤解されている方もおられますが、市外の病院に通院となることもあります。そのため、公共交通、道路網の整備をしていかなければいけないと思っています。



西 中 忍
(立志会)



萩市民病院

〈その他の質問〉

・田中市政で始まった給食費無償化で、どのような効果を見込んでいるのか



村 谷 幸 治
(蒼成会)



自転車走行のマナーの徹底

問 自転車に乗る際のマナーについて質問します。4月より青切符の対象となる違反のうち、信号無視や一時不停止、右側通行といった違反が含まれます。中高生のマナーの徹底が、これまでに以上に必要と考えます。

答 これに伴い、通学路を見直す必要のある箇所もあると考えますが、対応についてお伺いします。

答 道路交通法では、自転車は車両で、左側通行が原則です。中学校では、通学路で右側通行になりそうな危険箇所を説明し、



ルールの遵守を徹底しています。警察署が実技指導を行う交通安全教室や教職員による立哨指導を行うとともに、各自のタブレット端末で安全マップを作成するなど、生徒の主體的な安全教育に努めていきます。

不用果樹伐採費用の補助

問 連日、報道されるクマによる被害は、人の生命に関わるほど拡大しています。クマを寄せ付けない目的で樹木を伐採される方が増えていますが、費用の補助はできませんか。

答 集落に放置された柿などの果樹は、クマが人里に出没する大きな要因の一つと考えています。現在、萩市では集落が一体となり取り組む伐採活動に対して支援をしています。他市の事例の効果を検証するとともに、国の「クマ被害対策パッケージ」による予算措置や県の動向を注視し、どのような支援策が可能か研究していきます。

〈その他の質問〉
■空地の管理について



岡 崎 隆 志
(立志会)



「農業・産地再生プラン」を策定し産地の危機脱却を

問 萩市には多品目の農産物がありますが、水稲をはじめ、その産地の多くが危機的状況です。まずは実態を把握し、生産者の声を聞き協議した上で「萩市農業・産地再生プラン（仮称）」を産地ごとに策定し、そのプランは行政がけん引して実現して頂きたいと考えます。これは農水省が要請する地域計画の深化につながり、その実現性の向上にもつながります。産地によっては残された時間は僅かです。今すぐ「萩市農業・産地再生プラン」の策定に着手して頂きたいと切に願います。市長、やりませんか。

答 萩市では、生産者の皆様のご要望等をしつかりとお伺いし、県などの関係機関と連携しながら、

ら、産地が直面する課題の解決を図るため、各種の支援策を行っています。

現在は、本年7月に「山口あぶトマト部会」からご提出された、生産者の皆様の「産地を守りたい」という強い思いに応えるため、生産者をはじめとした関係機関で組織するプロジェクト会議において、実効性のある支援策について協議を重ねています。

他の産地についても、同様に厳しい状況にあるため、現場の声をしっかりと聞きし、産地の維持、発展に必要な支援に努めます。

〈その他の質問〉
■各地域の人口減少に改善の兆しはあるのか
■積雪時の除雪は早めに対応を



萩市の人口減少対策は

問 今、人口減少は、全国的に大きな課題となっています。萩市では、特に少子高齢化が進んでいて、人口減少の大きな要因の一つになっています。今後、この課題について、どの様に取り組まれるのかお尋ねします。

答 萩市では、特に若い世代の移住や定住を促進するために、「雇用」、「住まい」、「出生・子育て・教育環境」の3つを柱とした施策を、組織横断的かつ強力に推進しています。その成果も着実に現れており、平成18年度に開設した定住総合相談窓口を通じた移住者は今年9月末に累計で千人を突破しました。引き続き施策の充実を図り、若い世代から選ばれるまちづくりを推進します。

明神池の山側急傾斜地の整備は

問 長年通行止めになっている遊歩道を、通行できるようにするには、山側斜面の整備が必要になってきます。再度、急傾斜地の調査を実施していただけないかお尋ねします。

答 明神池北側の遊歩道は、過去の落石を受けて安全確保のため通行止めとしています。地元から再開を望む声もお聞きしていることから、改めて危険箇所について専門家等による調査を行い、その対応や工法、事業費、環境への影響等を整理いたします。また、地元の皆様との意見交換を通じて、自然環境の保全と観光利用の両立に配慮しながら、笠山エリアの在り方を検討していきます。



石 飛 孝 道
(立志会)



越ヶ浜明神池

中学生の負担軽減のため 自転車通学の条件緩和を

問 夏季休暇以外でも猛暑日が増えるなか、重たいタブレット端末や教科書を入れた鞆を持つて登下校することが大きな負担になっています。ルールの緩和もしくは撤廃を。

答 自転車通学の許可基準は、各中学校の立地条件や交通事情により異なりますが、概ね2km超の生徒に許可されています。許可基準の緩和については、酷暑等への対応が求められている



関 伸 久
(政風会)



ことから、各校の状況に応じて、生徒・保護者・学校運営協議会の意見を聞きながら、弾力的な運用を検討するよう、学校長に働きかけていきます。

市内飲食店救済のため日本版 ライドシェアの早期実現を

問 人口減少によりマーケットが縮小するなか飲食店の開業は相次ぎ、加えて夜の街にタクシー等が不足するなど、取り巻く環境が悪化しています。早期実現が望まれています。ドライバー側のメリットが少ないことから担い手があらわれるか心配です。国に声をあげて条件の緩和を。

答 夜間のタクシー不足は飲食店を始めとした地域経済の課題です。現行の日本版ライドシェアの制度にはタクシー事業者による参入の意向が不可欠で、ドライバー希望の方は、事業者との雇用契約が必要です。自治体による要件緩和の申請も可能ですが、まずは必要に応じて協議するなど、地域の実情に即した移動手段の確保に努めます。



萩市議会 議長
平 田 啓 一

立春の候、市民の皆様には
健やかにお過ごしのこととお
慶び申し上げます。

今年の干支である「午」は
行動力と元気の象徴とも言わ
れています。綱を締め、大き
な実りを得るために、勢いに
乗って駆け抜ける年となるこ
とを祈念いたします。

少子高齢化、人口減少さら
には物価高騰等により疲弊し
た地域経済の再生、中核病院
の形成や周産期医療環境の維
持、山陰道や小郡萩道路の早
期整備など、山積する課題に
対し、議会での議論を深め着
実に進めてまいります。

議会では、権能発揮に向け
た議会運営の見直しや、効率

化を検討するとともに、開か
れた議会を目指し、議会報告
会の開催などに取り組んでま
いりました。また「議会だよ
り」の発行、ユーチューブを
活用した議会の録画中継など
の情報発信に努めてまいりま
した。引き続き時代に合った
議会運営、情報発信を行って
まいります。

今春には市議会議員選挙が
行われますが、改選後も市勢
発展のため議員一丸となって
取り組んでまいりる所存です。
今後とも市議会に対しご支
援・ご協力を賜りますようお
願い申し上げます。

今年一年が災害のない穏や
かな一年となりますように。



市政を問う

16人の議員が質問

12月定例会一般質問

〈一般質問とは〉市政全般の執行状況や施策などについて、執行機関に対してその考え方や方向性を問いただしたり、報告や説明を求めたりするものです。



萩市議会
YouTube

QRコードから各議員の一般質問の動画を見ることができます。

◆石飛 孝道 …………… P13上

- 萩市の人口減少対策は
- 明神池の山側急傾斜地の整備は

◆関 伸久 …………… P13下

- 中学生の負担軽減のため自転車通学の条件緩和を
- 市内飲食店救済のため日本版ライドシェアの早期実現を

◆村谷 幸治 …………… P12上

- 自転車走行のマナーの徹底
- 不用果樹伐採費用の補助を 他

◆岡崎 隆志 …………… P12下

- 「農業・産地再生プラン」を策定し産地の危機脱却を 他

◆長岡 肇太郎 …………… P11上

- 海中転落時に対処するための救命器具等の設置を

◆西中 忍 …………… P11下

- 中核病院の形成はなぜ進まないのか 他

◆小林 富 …………… P10上

- 県立高校再編が与える萩市への影響と見解は
- 観光施策の方向性は 他

◆美原 喜大 …………… P10下

- クマへの対応は 他

◆佐々木 公恵 …………… P9上

- 市民に寄り添った終活支援を
- 産後ケアの更なる充実を 他

◆浅井 朗太 …………… P9下

- 狹隘道路地域の救急搬送対策は小型救急車と道路改良で
- 萩市からの令和8年度山口県予算要望内容は

◆宮内 欣二 …………… P8上

- 中核病院基本合意 年内にするのか
- コメの増産に支援を 他

◆松浦 誠 …………… P8下

- 狭あい道路の解消を
- ネットによるいじめの対策を

◆瀧口 治昭 …………… P7上

- 学校のプールの使用と活用についての今後の方針は 他

◆森田 宗和 …………… P7下

- 密集住宅地における火災予防は
- 主要地方道萩三隅線(県道)の椿町から入る様式町線の道路拡幅を 他

◆水津 和男 …………… P6上

- 北浦3市の一次産業共通課題を合同で取組を
- 地域の課題問題点の取組改善 他

◆森田 哲弘 …………… P6下

- 萩保健医療圏の二次救急医療の現状と必要性を問う 他



議会 会だより



ふくふくサロン (福栄)

12月定例会一般質問はこちら



市議会HP